

30 オオウスイロヘソカダガイ (カワザンショウガイ科)

兵庫県ランク:B

Paludinellassiminea tanegashimae

環境省ランク:指定なし

種の概要

房総半島・能登半島以南、新潟県(佐渡島)、四国、九州に分布。殻長約8mm、殻径約5mm程度。殻は小さいが堅固。やや高い円錐形で、殻頂は尖る。殻口は水滴型で殻底は丸くなるが、臍孔周縁が少し角張るため、それに沿って殻口底部はやや広がる。殻表は平滑で鈍い光沢があり、明るい赤褐色をしているが臍孔周辺は淡くなる。蓋は角質で薄く半透明。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

豊岡市、香美町、新温泉町

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。但馬地域の転石海岸や小規模のクレバスが形成された岩礁の飛沫帯上部に生息しており、産地によっては多産する。通常は転石下や岩の隙間に潜んでいるが、湿度の高いときは岩礁上を匍匐していることがある。

保護上の留意点

但馬沿岸域には生息に適した環境が多く存在し、場所によっては多くの個体が確認できる生息地もあるため、今のところ県内において種としての絶滅の心配はないと考えられる。しかし、本種の生息に適した環境条件は限定的であり、ひとたび護岸や土砂流入等の環境変化が起これば既知の生息地も容易に消滅するおそれがある。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 宇野明